



大掃除のついでに家の状態もチェック！点検・修理で家が長持ち

いよいよ師走！ 毎年恒例の大掃除のついでに、家の状態もチェックしてみませんか？

家の隅々まで見られる大掃除は、家の不具合やダメージを発見するきっかけにも。早めに発見・修理して、マイホームを長持ちさせましょう。

どこをチェックすればいいの？家の点検のポイント

それでは具体的に、どこをチェックすればよいのかをご紹介します。

まずは以下の場所に異常や異変がないか確認して、あやしい場所や明らかな不具合のある場所は、プロの住宅診断士や施工会社に確認してもらいましょう。

※住宅診断（ホームインスペクション）：住宅の構造や性能に精通した「住宅診断士」に、第三者の立場から住宅の劣化・欠陥・改修が必要な場所などの診断やアドバイスをしてもらうこと

チェックすべき場所と見方

・建物の外部（屋根・外壁・シーリング（建材の隙間を埋めている補填剤）・タイル・基礎コンクリート・雨どいなど）

ひび・欠け・穴・浮き・シミなどができていないか、水漏れがないか（特に建材と建材の継ぎ目・サッシ周り・バルコニー周り）

・玄関・サッシ・勝手口などの扉や窓部分

がたつき・開閉時の異音・パッキンの劣化・丁番などの金具のゆるみや故障・カギの不具合などがいないか

・室内

床の沈み・傾き・床鳴り、壁の割れ・剥がれ・隙間、天井の割れ・剥がれ・めくれ・シミ（水漏れの跡）などがないか

・階段

破損・ひび割れ・欠け・異音・剥がれ・めくれ・沈み・凹みなどがないか

その他、気になる部分があれば何でもメモして、できれば写真を撮っておきましょう。いざ住宅診断士に説明するといくときに楽になります。



チェックしにくい部分も気をつけて！ 床下・屋根裏は要注意

これらは大掃除でもなかなか手をつけられない場所ですが、住宅の傷みや不具合が表れやすい場所でもあります。

できれば点検口（床下の場合は床下収納庫にはめ込まれている収納ボックスなど）を開けて、のぞくだけでもしてみましょう。

チェックすべきポイントは、建材の剥がれや落下・水漏れ・シミ・配管の異常などです。

そのほかにも「何かおかしいな？」と感じたら、しっかりメモして写真を撮っておきましょう。

全国に広がる家づくりネットワーク

INOS

イノスグループ

株式会社 創建

☎0564-62-7700

